

**[成果情報名] 諫早湾干拓地における施設アスパラガスの栽培適応性と施肥体系**

**[要約]** 施設アスパラガス「ウエルカム」は、秋植えの作型で標準的な生育を示し、初年目で1,000kg/10a、2年目で3,500kg/10aを越える収量が確保できる。耐塩性も高く、灌漑施設が整備された諫早湾干拓地での栽培適応性は高い。年間総窒素施肥量は50kg/10aを限度とし、2年目以降は減肥栽培に努める。

**[キーワード]** 諫早湾干拓、雨よけアスパラガス、ウエルカム、栽培適応性、施肥設計

**[担当]** 総合農林試験場・企画経営部・干拓科

**[連絡先]** 電話0957-35-1272

**[区分]** 総合・営農(干拓)

**[分類]** 指導

---

**[背景・ねらい]**

諫早湾干拓地の営農計画において施設経営品目としてアスパラガスが示されている。そこで、干拓土壌における雨よけアスパラガス栽培での生育、収量性の評価と栽培適応性について調査した。また、年間の窒素施肥量について併せて検討した。

**[成果の内容・特徴]**

1. 施設アスパラガス「ウエルカム」は、秋植えの作型で標準的な生育を示し、翌年5月から収穫が可能となる。年間総窒素施肥量50kg/10a区の初年目の収量は、5月から9月17日までの間で1,088kg/10aである。(表1)

同じく年間窒素施肥量50kg/10aの2年目の収量は3,750kg/10a(春:2月5日~4月19日の収穫期間で865kg/10a、夏:5月3日~10月31日の収穫期間で2,885kg/10a)、商品化率91%と高い収量性を示した。耐塩性は高く、灌漑施設が整備された諫早湾干拓地での栽培適応性は高い。

2. 年間総窒素施肥量30~70(80)kg/10aの範囲で収量を比較した結果、初年目、2年目ともに年間総窒素施肥量50kg/10a区で高い傾向であったが、処理間で有意差はない。(表4)

3. 施肥による2年目の増収効果を初年目と比較すると、多肥栽培による増収の効果は少ない。(表4)

**[成果の活用面、留意点]**

1. 施肥は、窒素肥料のみとし、当面の間、加里、りん酸の施肥は行わない。  
定期的な土壌診断により加里、りん酸、塩基類の低下が認められる場合は不足成分の補給を目的として施肥の設計を行う。

2. 牛糞堆肥等の土づくり資材の施用は年間2,000kg/10aを限度とする。  
(平成16年度研究成果情報)

3. 立茎数、摘心、かん水、温度管理等の諸管理は県基準技術に準ずる。

4. 本情報は、諫早湾干拓営農技術対策の指針へ反映させる。

[具体的データ]

表1 施設アスパラガスの収量性

年次	収穫期間	総収量 (kg/10a)	商品化 収量 (kg/10a)	商品化率 (%)
18年 夏	H18.05.22 ~ 09.17	1,088		
19年 春	H19.02.05 ~ 04.19	865	731	85
19年 夏	H19.05.03 ~ 10.31	2,885	2,686	93
年計		3,750	3,417	91

注)は種:H17.6.1 定植:H17.10.11

施肥量 N-50kg/10a 品種:ウエルカム

商品化収量は、S級(7g以上)で優品以上(曲がり、穂の開き程度が出荷耐えうるもの)の収量

表2 施肥設計(初年目/平成18年)

単位:kg/10a

区名	基肥		追肥					
	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
①N-30kg/10a	10	10		10				
②N-40kg/10a	10	10	10			10		
③N-50kg/10a	10	10	10	10		10		
④N-80kg/10a	10	10	10	10	10	10	10	

注)基肥の施肥はH17.10.10

施肥はすべて硫安のみ

表3 施肥設計(2年目/平成19年)

単位:kg/10a

区名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
①N-30kg/10a		10		10		10	
②N-40kg/10a	10		10		10		10
③N-50kg/10a	10		10	10	10	10	
④N-70kg/10a	10	10	10	10	10	10	10

注)施肥はすべて硫安のみ

表4 施肥の違いによる2年目の増収効果

	(a)	(b)	(b)/(a)	(c) =(a)+(b)	(d)	(d)/(b)	(d)/(c)
	18年収量	19年春	前年比	18年+	19年夏	対春比	増収比
	(kg/10a)	(kg/10a)	(%)	19年春	(kg/10a)	(%)	(%)
①N-30kg/10a	786	770	98.0	1,556	2,804	364.1	180.2
②N-40kg/10a	850	698	82.1	1,549	2,549	365.1	164.6
③N-50kg/10a	1,088	865	79.5	1,953	2,885	333.5	147.7
④N-80kg/10a	925	734	79.4	1,660	2,838	386.5	171.0

[その他]

研究課題名：2)諫早湾干拓営農対策試験(2)営農対策試験②施設野菜栽培法

予算区分：県単

研究期間：2004～2007年度

研究担当者：小林雅昭

既発表論文：17年度、18年度干拓営農対策試験成績書